

まちづくりに関する 市民アンケート調査 結果【単純集計】

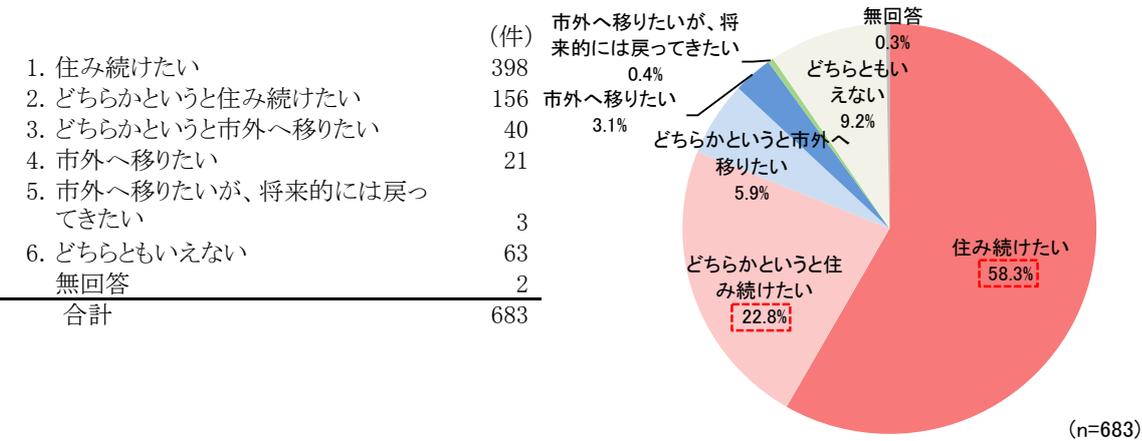
■ アンケート実施状況

調査期間： 令和5年2月20日～令和5年3月6日（15日間） ※締切遅延分も集計
 対象者： 市内にお住まいの満18歳以上の方々から無作為に2,000人を抽出
 実施方法： 郵送で配布し、回答用紙の返信またはWEB回答で回収
 配布数： 2,000 通
 回答数： 683 通 （郵送：602通、WEB：81通）
 回収率： 34.2 %

1. 新発田市への住み心地や愛着について、おたずねします

問1. 今後も新発田市に住み続けたいと思いますか。

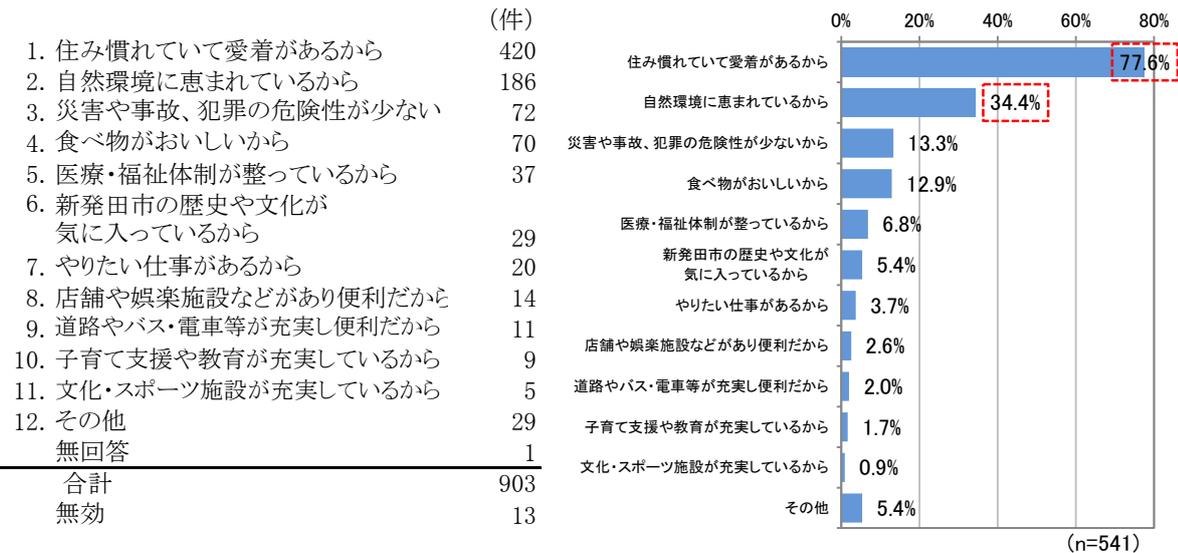
今後の居留意向では、「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」は合わせて約81%である。



問2. 住み続けたい理由をお答えください。（2つまで選択）

（問1. で「1.住み続けたい」「2.どちらかというに住み続けたい」と答えた方）

今後も新発田市に住み続けたい理由では、「住み慣れていて愛着があるから」が約78%で最も高く、次いで、「自然環境に恵まれているから」が約34%である。



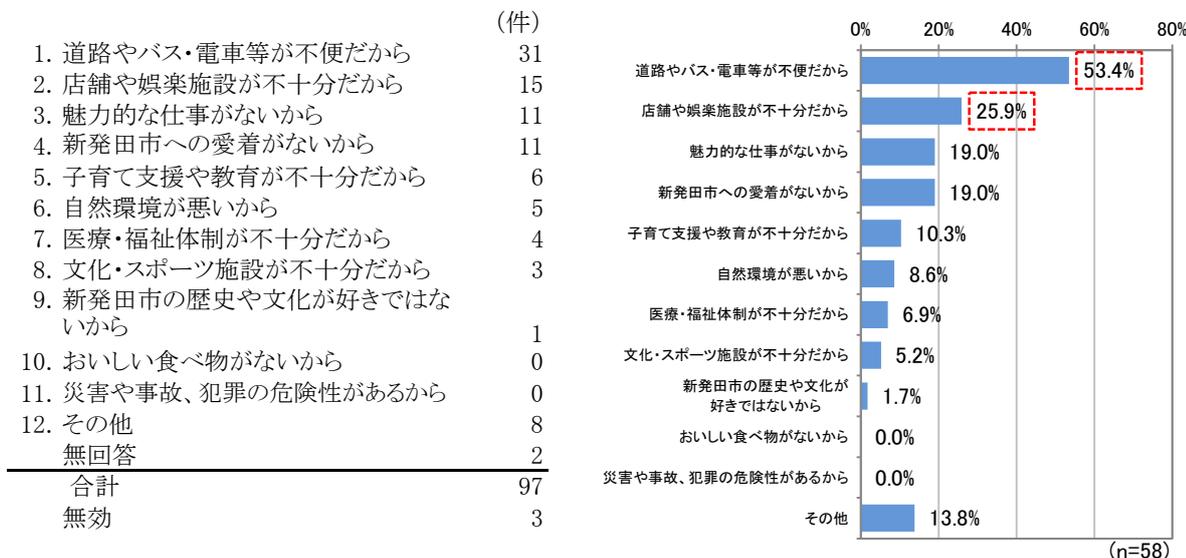
【その他】

- ・ 家や土地があるから(7)
- ・ 生まれ育った地だから(6)
- ・ 家族がいるから(2)
- ・ 人付き合いが良いから(2)
- ・ 高齢のため(2)
- ・ 経済的な余裕がないから(2) など

問3. 市外へ移りたい理由をお答えください。(2つまで選択)

(問1. で「3.どちらかというとし外へ移りたい」「4.市外へ移りたい」と答えた方)

市外へ移りたい理由では、「道路やバス・電車等が不便だから」が約53%で最も高く、次いで、「店舗や娯楽施設が不十分だから」が約26%である。



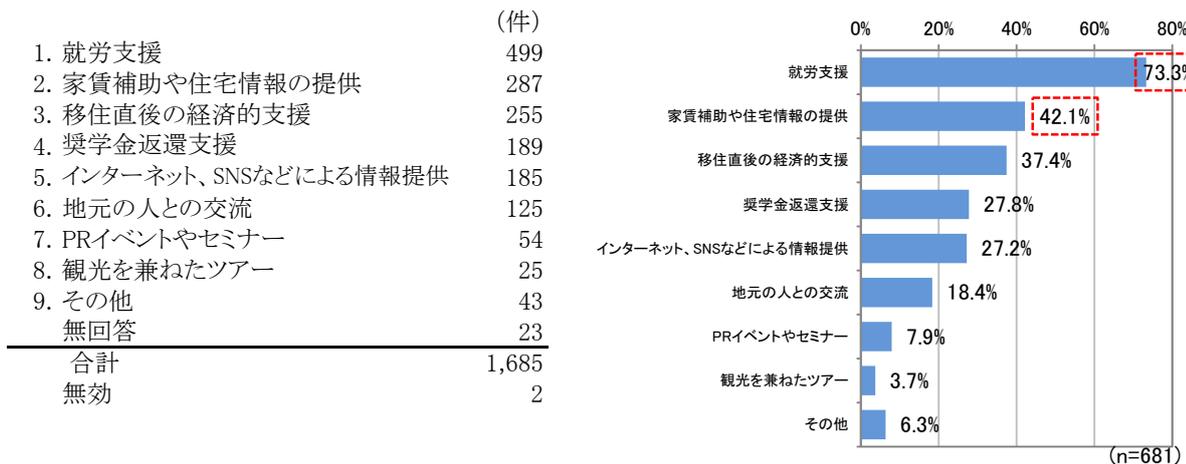
【その他】

- ・ 除雪の対応が悪い(2)
- ・ 税金、公共交通料金が高い
- ・ 思いやりや交流がない
- ・ 若者に住みやすい環境ではない
- ・ 閉鎖的な感覚についていけない

など

問4. 若い方が就職や進学等で地元を離れた場合、将来的に地元に戻るためにはどのような支援策が必要であると思いますか。(3つまで選択)

若い方が将来的に地元に戻るための施策では、「就労支援」が約74%で最も高く、次いで、「家賃補助や住宅情報の提供」が約42%である。



【その他】

- ・ 就職先や賃金など就労環境の充実(17)
- ・ 教育環境の充実(3)
- ・ 子育て支援(9)
- ・ 医療・福祉施設など都市施設の充実(3)
- ・ 地域の魅力や郷土愛の向上(5)

など

2. 新発田市の取組に対する満足度と重要度について、おたずねします

問5. これらの取組及び方針について、満足度と重要性をどのようにお考えですか。

新発田市の取組のうち、半数以上の方が「満足」または「やや満足」と回答する取組は「消防・救急」、「上・下水道」、「地域医療」である。また、半数以上の方が「不満」または「やや不満」と回答している取組は「中心市街地活性化」である。

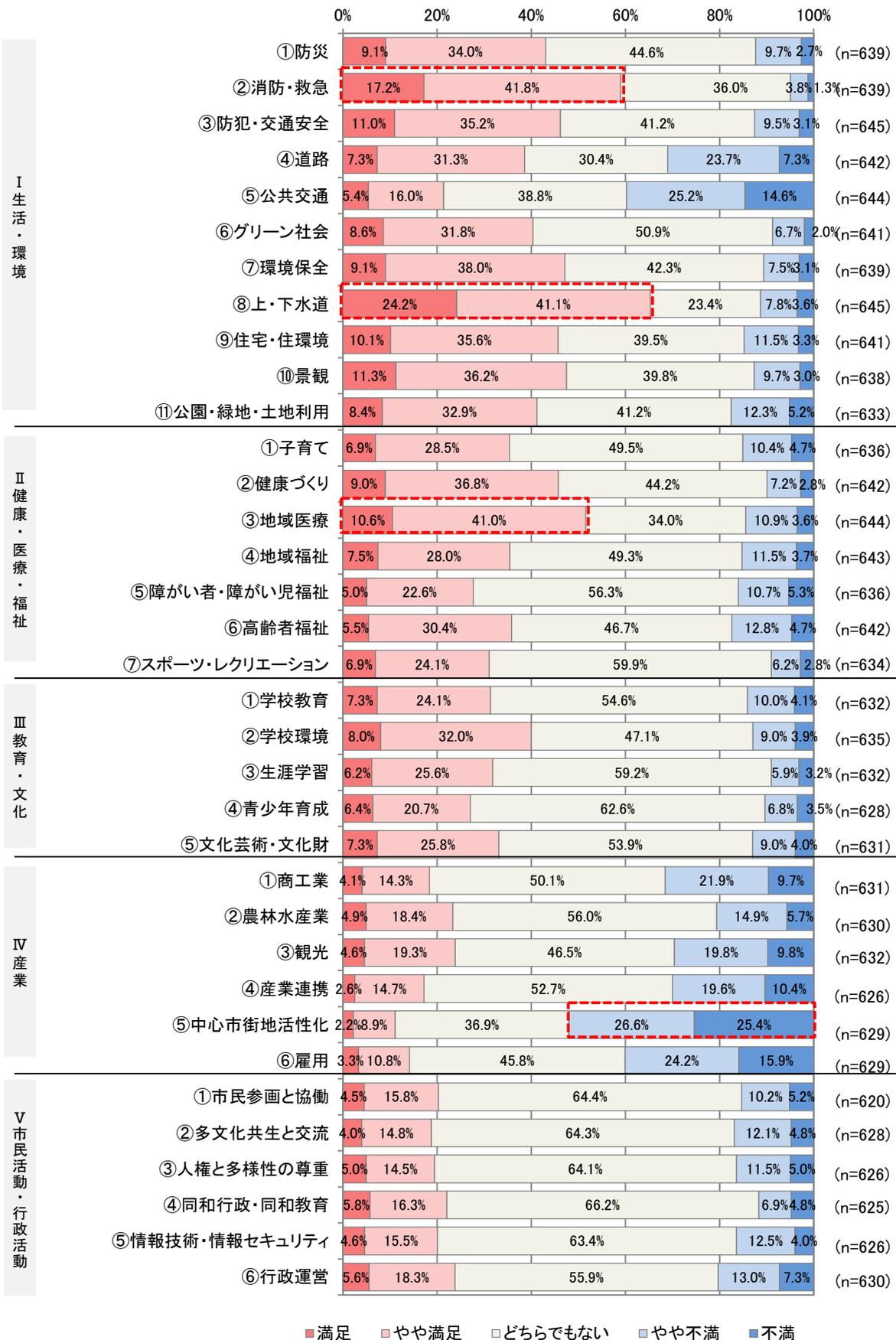
今後の重要度について、9割以上の方が「重要」または「やや重要」と回答する取組は「防災」、「消防・救急」である。また、「重要でない」または「あまり重要でない」については、全ての取組が1割以下である。

特に「雇用」、「中心市街地活性化」、「公共交通」については、不満を感じる方が多く、今後の重要度も高い。

【現状の満足度】

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	計
I 生活・環境	①防災	58	217	285	62	17	639
	②消防・救急	110	267	230	24	8	639
	③防犯・交通安全	71	227	266	61	20	645
	④道路	47	201	195	152	47	642
	⑤公共交通	35	103	250	162	94	644
	⑥グリーン社会	55	204	326	43	13	641
	⑦環境保全	58	243	270	48	20	639
	⑧上・下水道	156	265	151	50	23	645
	⑨住宅・住環境	65	228	253	74	21	641
	⑩景観	72	231	254	62	19	638
	⑪公園・緑地・土地利用	53	208	261	78	33	633
II 健康・医療・福祉	①子育て	44	181	315	66	30	636
	②健康づくり	58	236	284	46	18	642
	③地域医療	68	264	219	70	23	644
	④地域福祉	48	180	317	74	24	643
	⑤障がい者・障がい児福祉	32	144	358	68	34	636
	⑥高齢者福祉	35	195	300	82	30	642
	⑦スポーツ・レクリエーション	44	153	380	39	18	634
III 教育・文化	①学校教育	46	152	345	63	26	632
	②学校環境	51	203	299	57	25	635
	③生涯学習	39	162	374	37	20	632
	④青少年育成	40	130	393	43	22	628
	⑤文化芸術・文化財	46	163	340	57	25	631
IV 産業	①商工業	26	90	316	138	61	631
	②農林水産業	31	116	353	94	36	630
	③観光	29	122	294	125	62	632
	④産業連携	16	92	330	123	65	626
	⑤中心市街地活性化	14	56	233	168	160	631
	⑥雇用	21	68	288	152	100	629
V 市民活動・行政活動	①市民参画と協働	28	98	399	63	32	620
	②多文化共生と交流	25	93	404	76	30	628
	③人権と多様性の尊重	31	91	401	72	31	626
	④同和行政・同和教育	36	102	414	43	30	625
	⑤情報技術・情報セキュリティ	29	97	397	78	25	626
	⑥行政運営	35	115	352	82	46	630

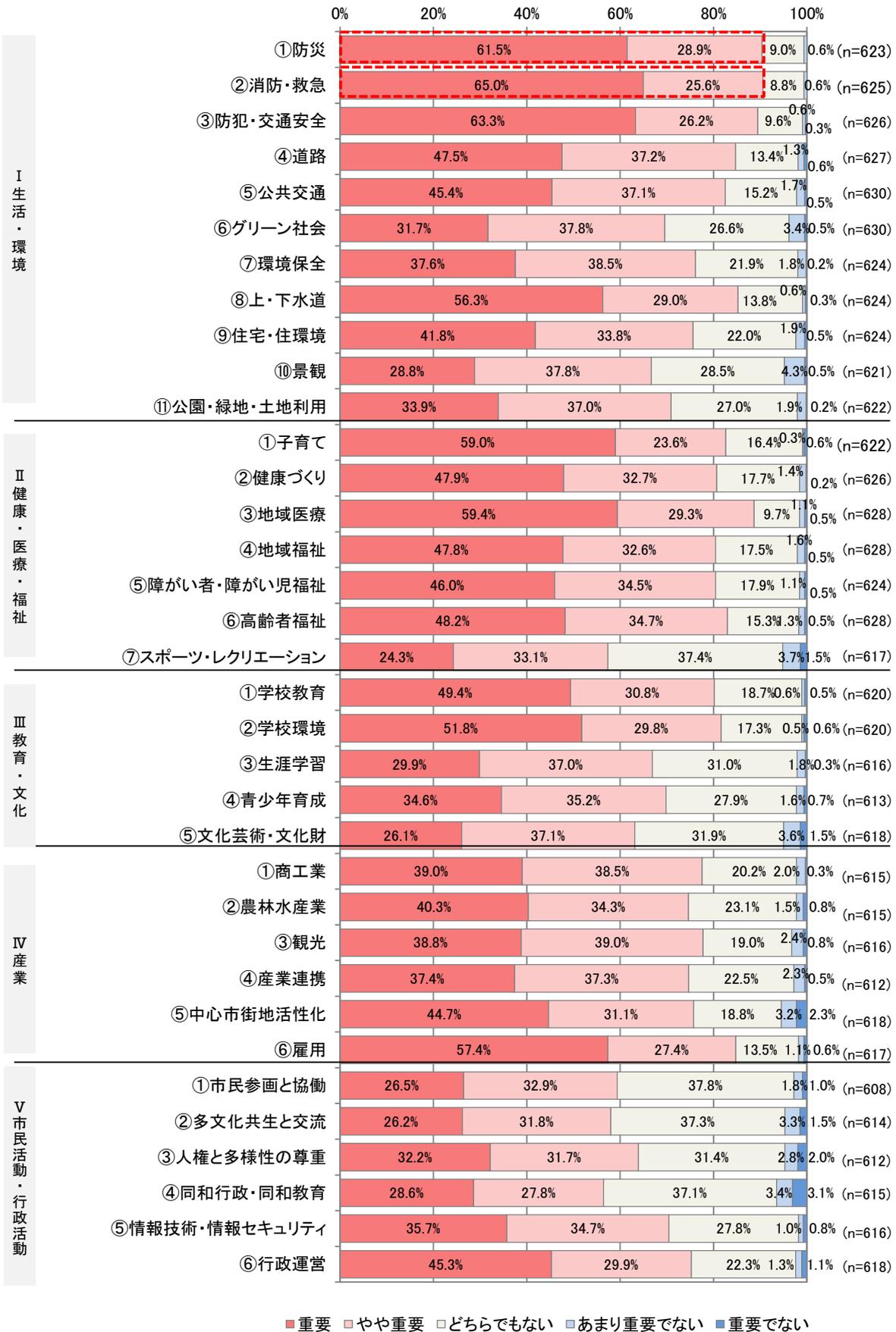
※太字は「満足」「やや満足」の合計が半数を超える



【今後の重要度】

		重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	計
I 生活・環境	①防災	383	180	56	4	0	623
	②消防・救急	406	160	55	4	0	625
	③防犯・交通安全	396	164	60	4	2	626
	④道路	298	233	84	8	4	627
	⑤公共交通	286	234	96	11	3	630
	⑥グリーン社会	198	236	166	21	3	624
	⑦環境保全	233	239	136	11	1	620
	⑧上・下水道	351	181	86	4	2	624
	⑨住宅・住環境	261	211	137	12	3	624
	⑩景観	179	235	177	27	3	621
	⑪公園・緑地・土地利用	211	230	168	12	1	622
II 健康・医療・福祉	①子育て	367	147	102	2	4	622
	②健康づくり	300	205	111	9	1	626
	③地域医療	373	184	61	7	3	628
	④地域福祉	300	205	110	10	3	628
	⑤障がい者・障がい児福祉	287	215	112	7	3	624
	⑥高齢者福祉	303	218	96	8	3	628
	⑦スポーツ・レクリエーション	150	204	231	23	9	617
III 教育・文化	①学校教育	306	191	116	4	3	620
	②学校環境	321	185	107	3	4	620
	③生涯学習	184	228	191	11	2	616
	④青少年育成	212	216	171	10	4	613
	⑤文化芸術・文化財	161	229	197	22	9	618
IV 産業	①商工業	240	237	124	12	2	615
	②農林水産業	248	211	142	9	5	615
	③観光	239	240	117	15	5	616
	④産業連携	229	228	138	14	3	612
	⑤中心市街地活性化	276	192	116	20	14	618
	⑥雇用	354	169	83	7	4	617
V 市民活動・行政活動	①市民参画と協働	161	200	230	11	6	608
	②多文化共生と交流	161	195	229	20	9	614
	③人権と多様性の尊重	197	194	192	17	12	612
	④同和行政・同和教育	176	171	228	21	19	615
	⑤情報技術・情報セキュリティ	220	214	171	6	5	616
	⑥行政運営	280	185	138	8	7	618

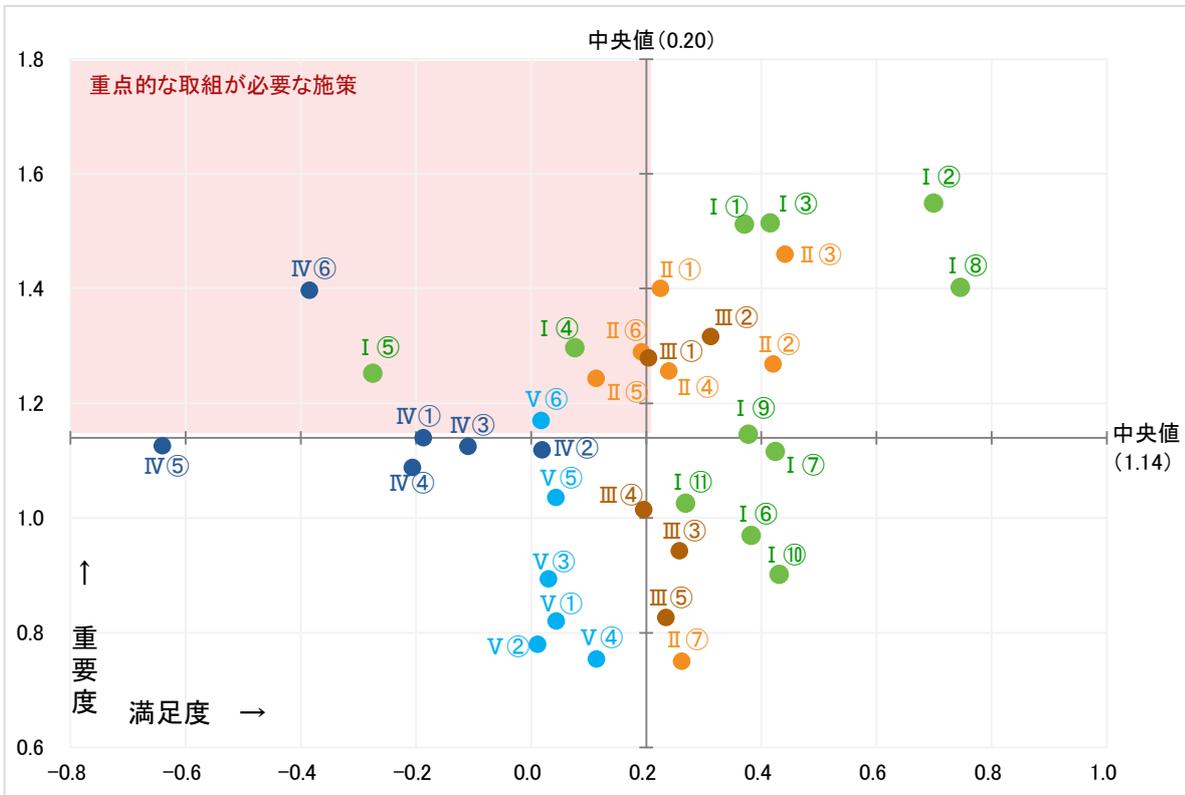
※太字は「重要」「やや重要」の合計が90%を超える



■重要 □やや重要 □どちらでもない □あまり重要でない ■重要でない

【重要度・満足度の分析】

各取組の重要度・満足度の分析では、比較的重要度が高く満足度が低い取組は「雇用」や「公共交通」等であり、満足度・重要度ともに高いものは、「消防・救急」や「上・下水道」等である。



I 生活・環境

- ① 防災
- ② 消防・救急
- ③ 防犯・交通安全
- ④ 道路**
- ⑤ 公共交通**
- ⑥ グリーン社会
- ⑦ 環境保全
- ⑧ 上・下水道
- ⑨ 住宅・住環境
- ⑩ 景観
- ⑪ 公園・緑地・土地利用

II 健康・医療・福祉

- ① 子育て
- ② 健康づくり
- ③ 地域医療
- ④ 地域福祉
- ⑤ 障がい者・障がい児福祉**
- ⑥ 高齢者福祉**
- ⑦ スポーツ・レクリエーション

III 教育・文化

- ① 学校教育
- ② 学校環境
- ③ 生涯学習
- ④ 青少年育成
- ⑤ 文化芸術・文化財

IV 産業

- ① 商工業
- ② 農林水産業
- ③ 観光
- ④ 産業連携
- ⑤ 中心市街地活性化
- ⑥ 雇用**

V 市民活動・行政活動

- ① 市民参画と協働
- ② 多文化共生と交流
- ③ 人権と多様性の尊重
- ④ 同和行政・同和教育
- ⑤ 情報技術・情報セキュリティ
- ⑥ 行政運営**

※太字は重点的な取組が必要な施策

※重要度・満足度の数値化

・重要度・満足度の選択肢にポイントをつけ、それぞれの重要度・満足度の評価点を算出

〈ポイント〉 満足度 満足:+2、やや満足:+1、やや不満:-1、不満:-2

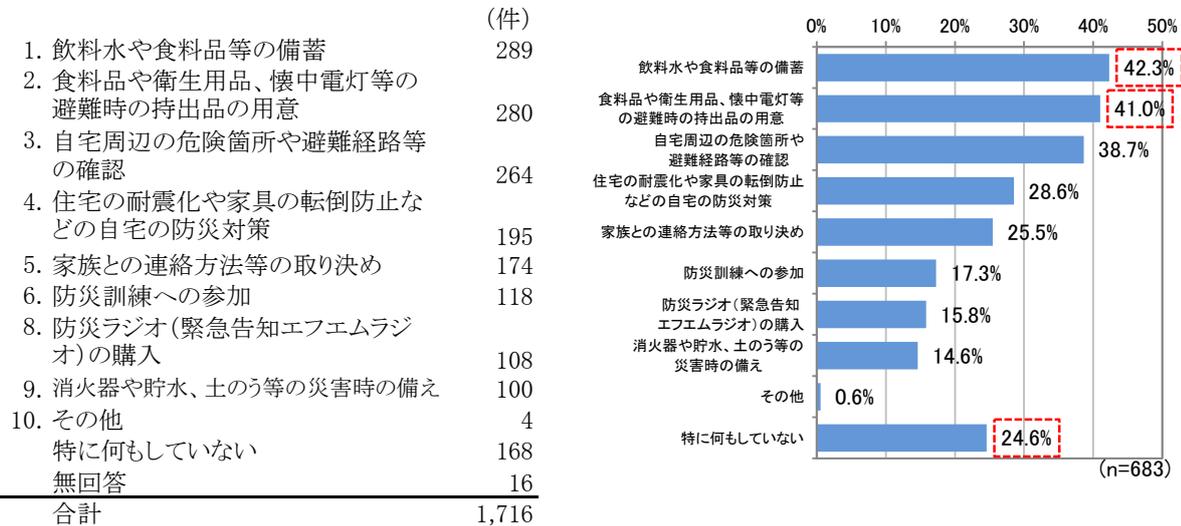
重要度 重要:+2、やや重要:+1、あまり重要でない:-1、あまり重要でない:-2

〈計算式〉 満足度 = (「満足」×2 + 「やや満足」×1 + 「やや不満」×(-1) + 「不満」×(-2)) / 回答者数

(1) 「生活・環境」について

問6. 災害に備えた防災対策を行っていますか。(あてはまるものすべてを選択)

災害に備えて行っている防災対策では、「飲料水や食料品等の備蓄」が約42%で最も高く、次いで「食料品や衛生用品、懐中電灯等の避難時の持出品の用意」が約41%である。また、「特に何もしていない」は約25%である。



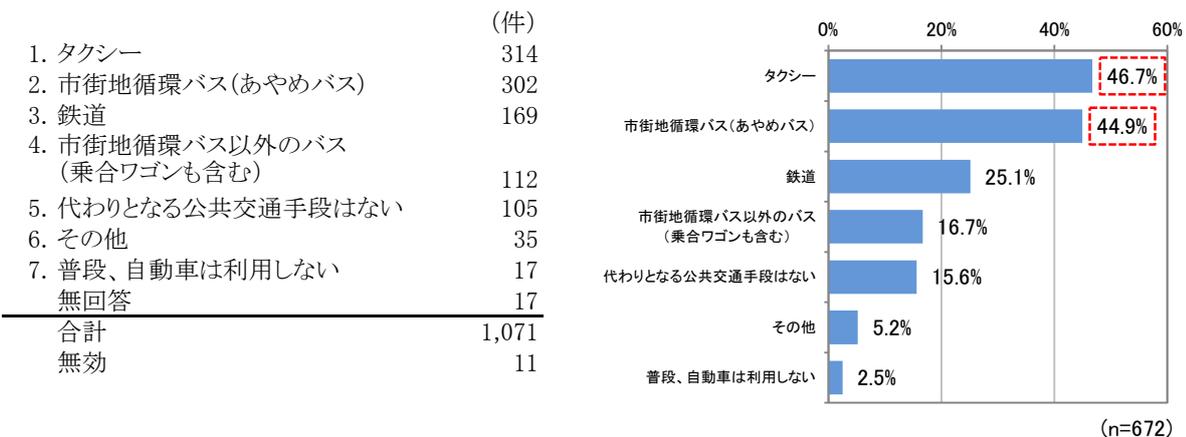
【その他】

- ・ 保険等の利用または加入

など

問7. 普段の生活で、自動車が利用できなくなった場合、代わりとなる公共交通手段は何ですか。(2つまで選択)

自動車が利用できなくなった場合に代わりとなる公共交通手段では、「タクシー」が約47%で最も高く、次いで「市街地循環バス(あやめバス)」が約45%である。



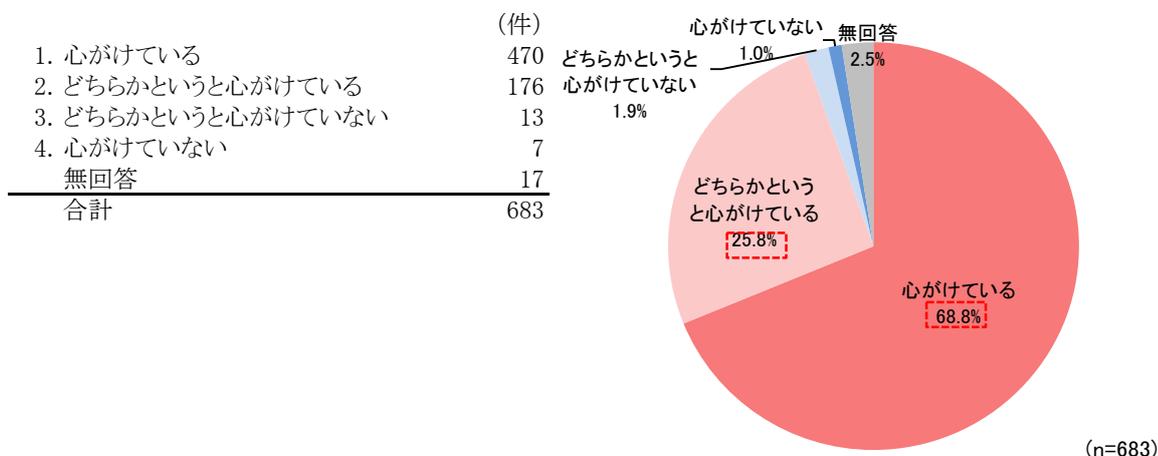
【その他】

- ・ 自転車(20)
- ・ 徒歩(5)
- ・ 家族の送迎(9)

など

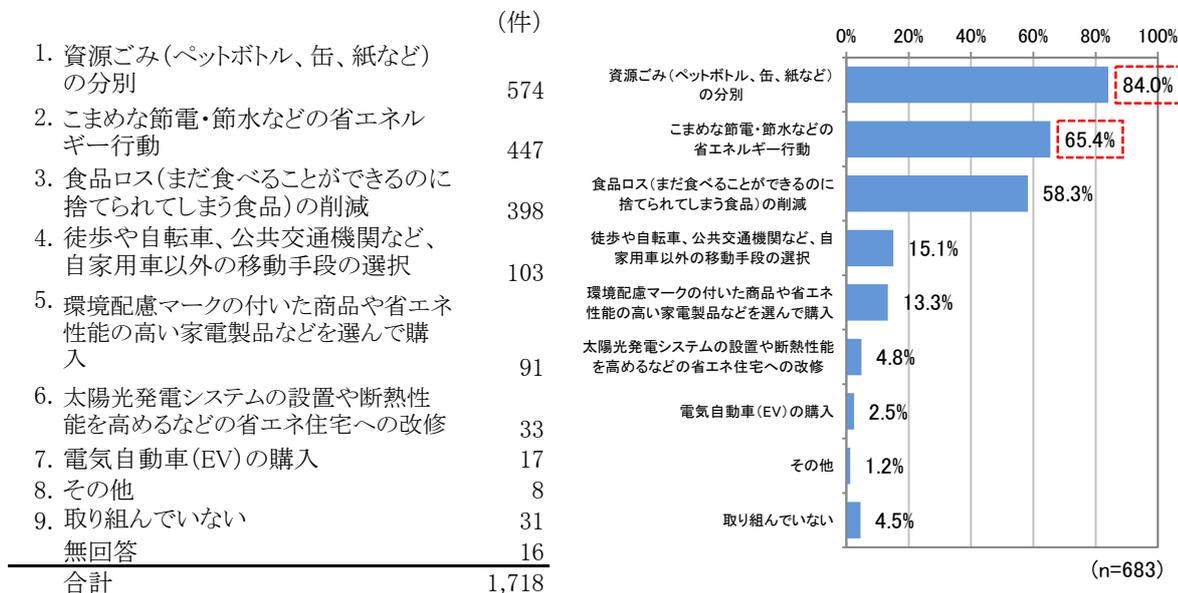
問8. 普段の生活で、ごみの分別などのリサイクルを心がけていますか。

ごみの分別などのリサイクルでは、「心がけている」と「どちらかという心がけている」は合わせて約95%である。



問9. 温室効果ガスの排出抑制をはじめとした脱炭素社会の実現に向けて、取り組んでいることはありますか。(あてはまるものすべて選択)

脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいることでは、「資源ごみの分別」が約84%で最も高く、次いで「こまめな節電・節水などの省エネルギー行動」が約66%である。また、「取り組んでいない」は約5%である。



【その他】

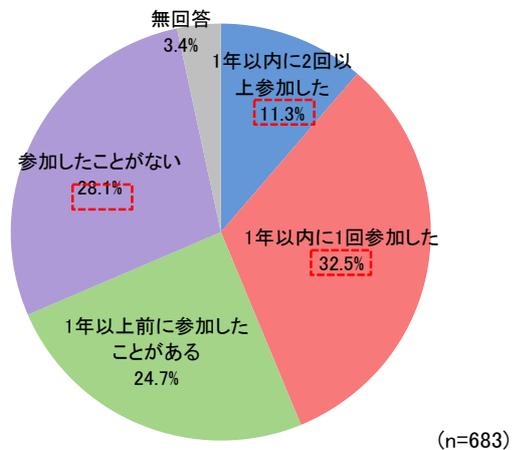
- ・ 生ごみの肥料化
- ・ 植木や植物の拡充
- ・ 焚き火はしない

など

問10. これまでに、地域の清掃活動（クリーン作戦）などの環境美化活動に参加したことがありますか。

環境美化活動への参加状況では、「1年以内に2回以上参加した」と「1年以内に1回参加した」を合わせた1年以内に参加した人は約44%であり、今までに「参加したことがない」は約28%である。

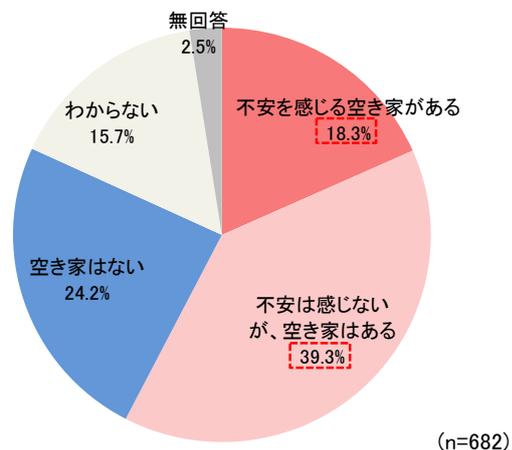
	(件)
1. 1年以内に2回以上参加した	77
2. 1年以内に1回参加した	222
3. 1年以上前に参加したことがある	169
4. 参加したことがない	192
無回答	23
合計	683



問11. 本市では、倒壊の恐れや衛生上有害となる恐れがあるなど、適切な管理がされていない空き家の対策に取り組んでいます。自宅の近隣で、空き家がありますか。

自宅の近隣の空き家の有無では、「不安を感じる空き家がある」は約18%であり、「不安は感じないが、空家はある」を合わせた近隣に空き家がある人が約58%である。

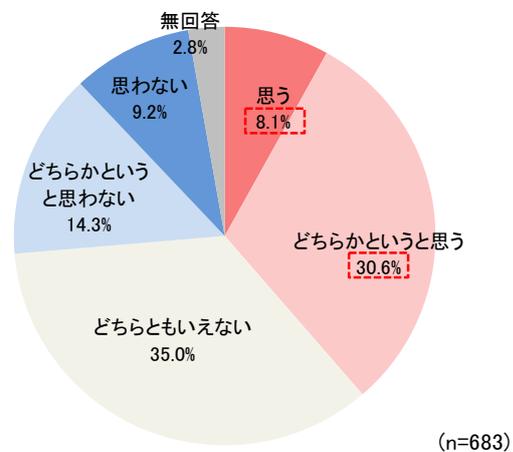
	(件)
1. 不安を感じる空き家がある	125
2. 不安は感じないが、空き家はある	268
3. 空き家はない	165
4. わからない	107
無回答	17
合計	682
無効	1



問12. 市内の歴史的な街並みや建造物、自然景観が保全され、魅力的な景観が形成されていると思いますか。

市内の魅力的な景観について、形成されていると「思う」と「どちらかというと思う」は合わせて約39%である。

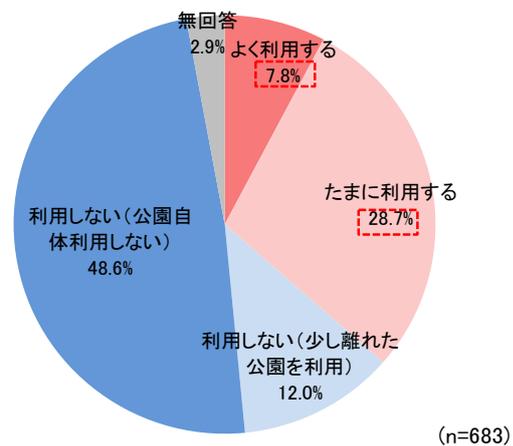
	(件)
1. 思う	55
2. どちらかというと思う	209
3. どちらともいえない	239
4. どちらかというと思わない	98
5. 思わない	63
無回答	19
合計	683



問13. 普段の生活で、徒歩や自転車で行ける身近な公園を利用しますか。

身近な公園の利用状況では、「公園自体利用しない」が約49%で最も高い。また、「よく利用する」と「たまに利用する」は合わせて約37%である。

	(件)
1. よく利用する	53
2. たまに利用する	196
3. 利用しない(少し離れた公園を利用)	82
4. 利用しない(公園自体利用しない)	332
無回答	20
合計	683

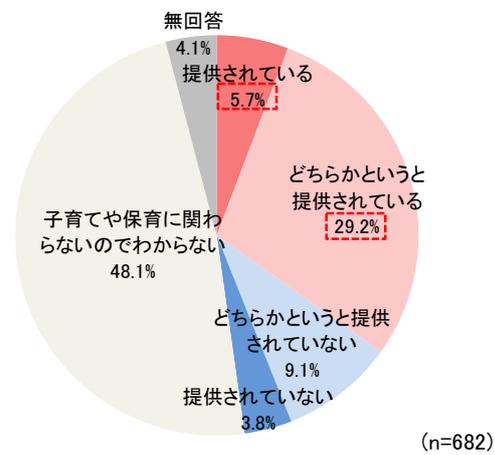


(2) 「健康・医療・福祉」について

問14. 子育てや保育などの多様なニーズに応じたサービスが提供されていると思いますか。

多様なニーズに応じた子育てサービスの提供では、「子育てや保育に関わらないのでわからない」が約48%で最も高い。また、「わからない」を除いた回答のなかでは、7割程度が「提供されている」または「どちらかというと提供されている」と回答している。

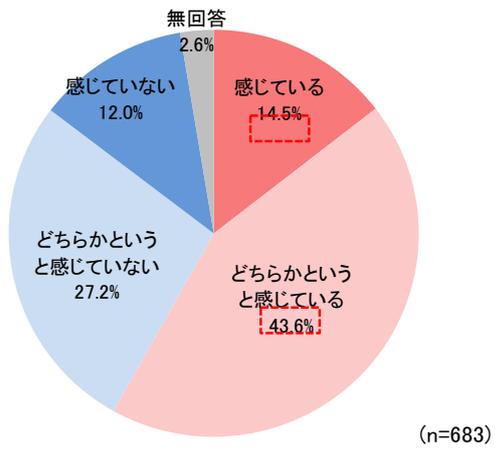
	(件)
1. 提供されている	39
2. どちらかというと提供されている	199
3. どちらかというと提供されていない	62
4. 提供されていない	26
5. 子育てや保育に関わらないのでわからない	328
無回答	28
合計	682
無効	1



問15. 普段の生活で、自分自身がいきいきと暮らしていると感じていますか。

普段の生活で、いきいきと暮らしていると「感じている」または「どちらかというと感じている」は合わせて約58%である。

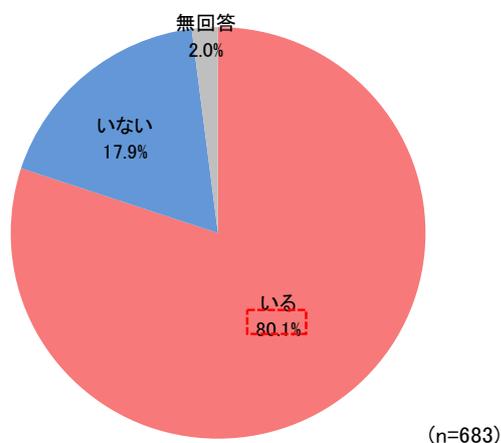
	(件)
1. 感じている	99
2. どちらかというと感じている	298
3. どちらかというと感じていない	186
4. 感じていない	82
無回答	18
合計	683



問16. かかりつけのお医者さんがいますか。

かかりつけ医がいる方は、約80%である。

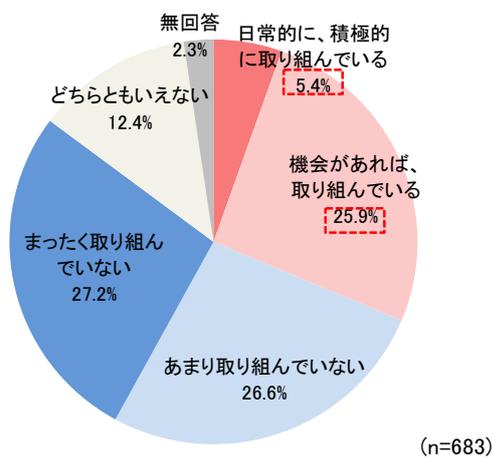
	(件)
1. いる	547
2. いない	122
無回答	14
合計	683



問17. 地域での支え合いや助け合い、協力など地域での福祉活動に取り組んでいますか。

地域での福祉活動の取組状況では、「日常的に、積極的に取り組んでいる」または「機会があれば取り組んでいる」は合わせて約31%である。

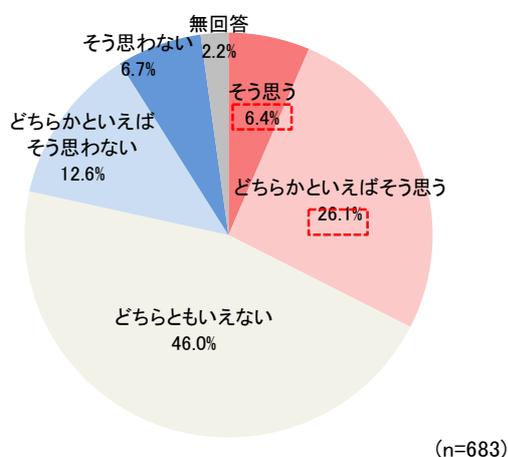
	(件)
1. 日常的に、積極的に取り組んでいる	37
2. 機会があれば、取り組んでいる	177
3. あまり取り組んでいない	182
4. まったく取り組んでいない	186
5. どちらともいえない	85
無回答	16
合計	683



問18. 障がいのある方もない方も共に認め合い、安心して暮らせるまちだと思いますか。

障がいのある方もない方も安心して暮らせるまちについて、「そう思う」または「どちらかというそう思う」は合わせて約33%である。

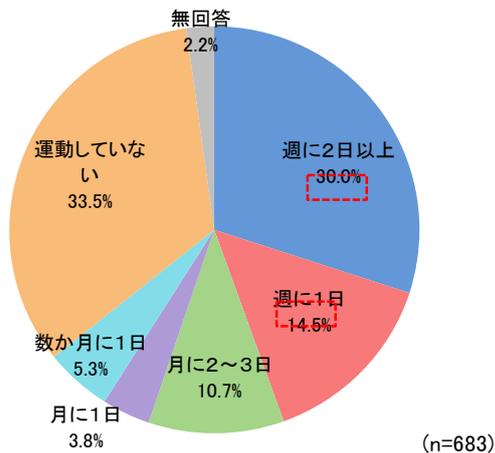
	(件)
1. そう思う	44
2. どちらかといえばそう思う	178
3. どちらともいえない	314
4. どちらかといえばそう思わない	86
5. そう思わない	46
無回答	15
合計	683



問19. この1年間にスポーツや軽スポーツ（ラジオ体操、ウォーキングなど）等の運動をしましたか。

この1年間の運動頻度について、「運動していない」が約33%で最も高い。また、運動している人のなかでは「週に2日以上」が約30%で最も高く、次いで「週に1日」が約15%である。

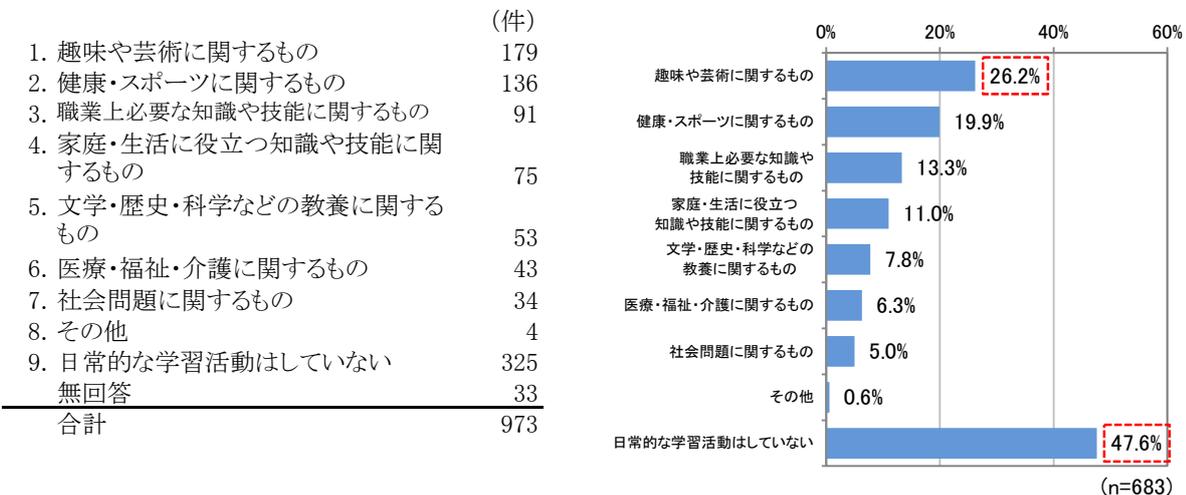
	(件)
1. 週に2日以上	205
2. 週に1日	99
3. 月に2~3日	73
4. 月に1日	26
5. 数か月に1日	36
6. 運動していない	229
無回答	15
合計	683



(3) 「教育・文化」について

問20. 教育・文化・レクリエーションなどの学習活動（生涯学習）について、普段の生活で行っているものはありますか。（あてはまるものすべて選択）

普段の生活で行っている学習活動では、「日常的な学習活動はしていない」が約47%で最も高い。また、学習活動をしている方の中では、「趣味や芸術に関するもの」が約26%で最も高く、次いで「健康・スポーツに関するもの」が約20%である。

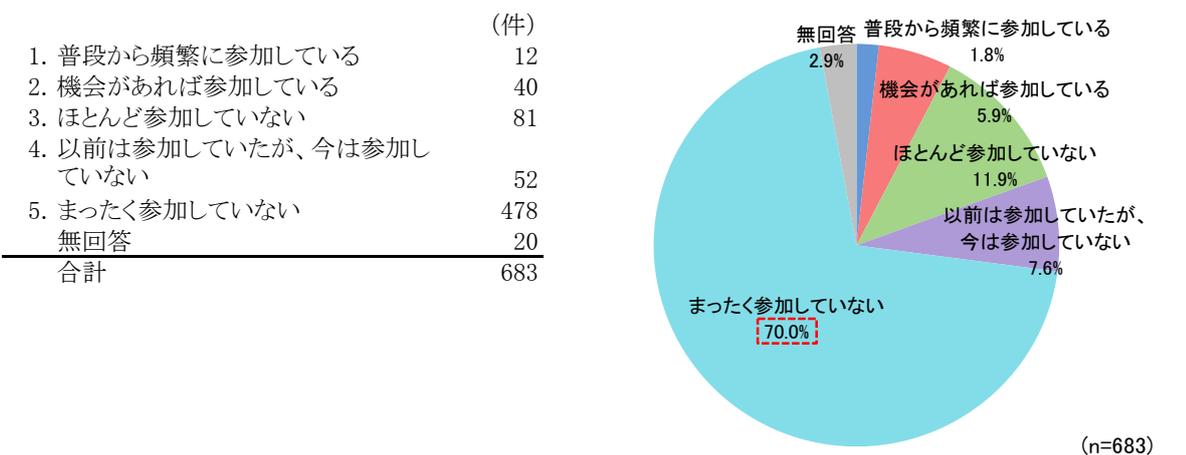


【その他】

- ・ サッカー観戦、野菜づくり など

問21. 普段の生活で、登下校時の見守りや学習・体験機会の提供など、青少年の育成活動等に参加していますか。

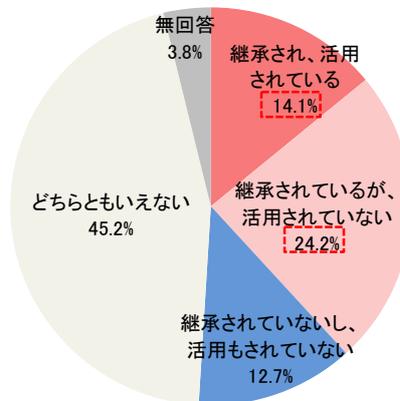
青少年の育成活動の参加状況では、「まったく参加していない」が約70%で最も高く。また、「普段から頻繁に参加している」または「機会があれば参加している」は合わせて約8%である。



問22. 地域の歴史や文化が継承され、活用されていると思いますか。

地域の歴史や文化について、「継承されている」と思う方は約38%であり、このうち「継承され、活用されている」と思う方は約14%である。

	(件)
1. 継承され、活用されている	96
2. 継承されているが、活用されていない	165
3. 継承されていないし、活用もされていない	87
4. どちらともいえない	309
無回答	26
合計	683



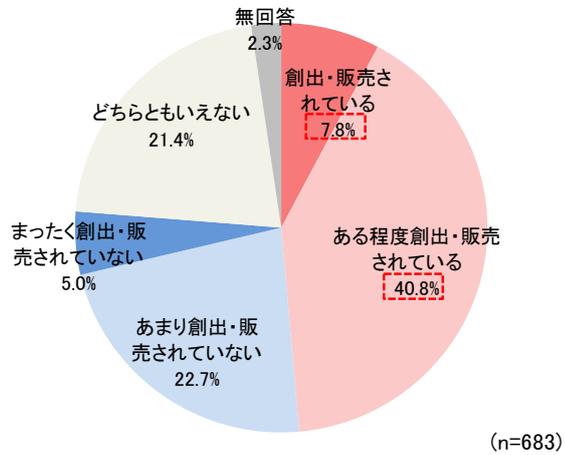
(n=683)

(4) 「産業」について

問23. 新発田の魅力を活かした商品が創出・販売されていると思いますか。

新発田の魅力を活かした商品について、「創出・販売されている」または「ある程度創出・販売されている」と思う方は合わせて約49%である。

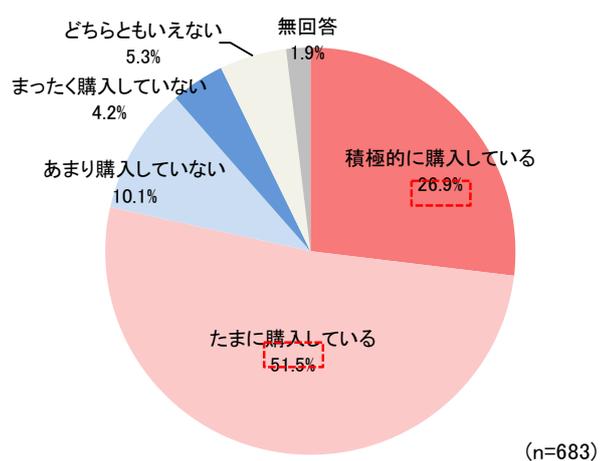
	(件)
1. 創出・販売されている	53
2. ある程度創出・販売されている	279
3. あまり創出・販売されていない	155
4. まったく創出・販売されていない	34
5. どちらともいえない	146
無回答	16
合計	683



問24. 普段の生活で、地場産の農作物や加工品等を購入していますか。

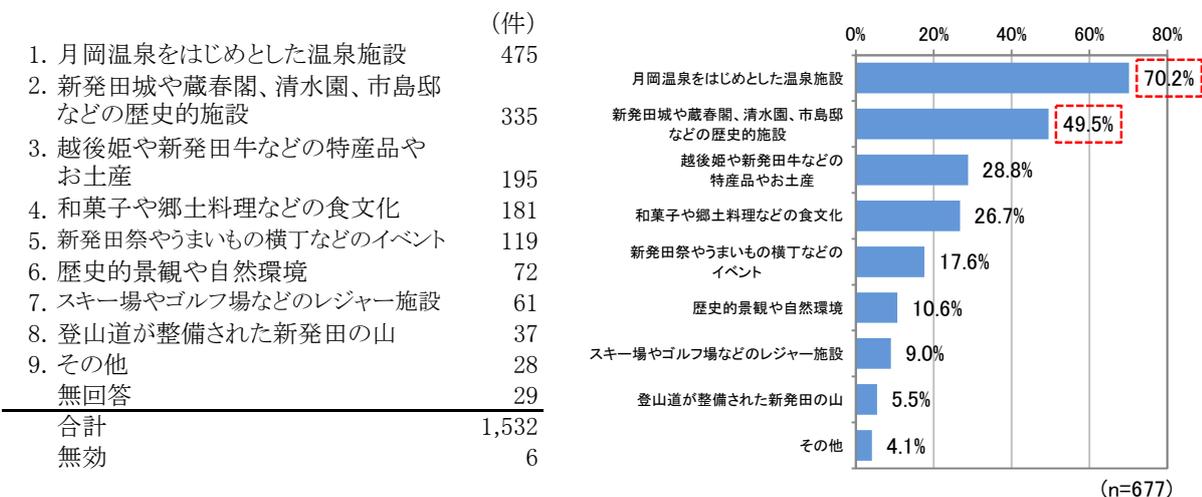
地場産の農作物や加工品等について、「積極的に購入している」または「たまに購入している」は合わせて約78%である。

	(件)
1. 積極的に購入している	184
2. たまに購入している	352
3. あまり購入していない	69
4. まったく購入していない	29
5. どちらともいえない	36
無回答	13
合計	683



問25. 市外の人に自慢できる魅力的な観光資源はありますか。（3つまで選択）

市外の人に自慢できる魅力的な観光資源では、「月岡温泉をはじめとした温泉施設」が約70%で最も高く、次いで「新発田城や蔵春閣、清水園、市島邸などの歴史的施設」が約50%である。

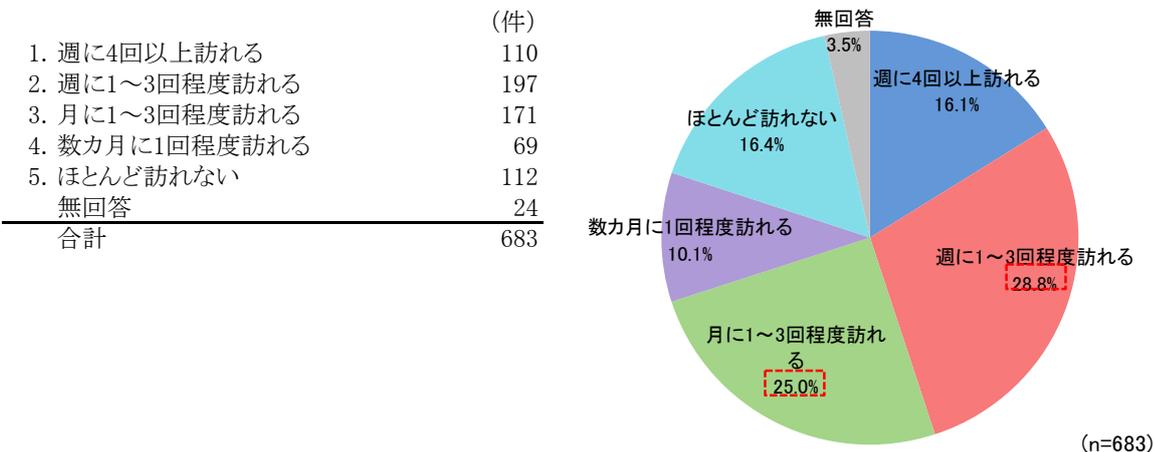


【その他】

- ・ 加治川の天然プール
- ・ 郊外の山・川等ドライブコース
- ・ 五十公野公園のあやめ園
- ・ イオンモール新発田店等
- ・ なし(22)

問26. 仕事や買物・通院など、普段の生活で中心市街地を訪れることがありますか。

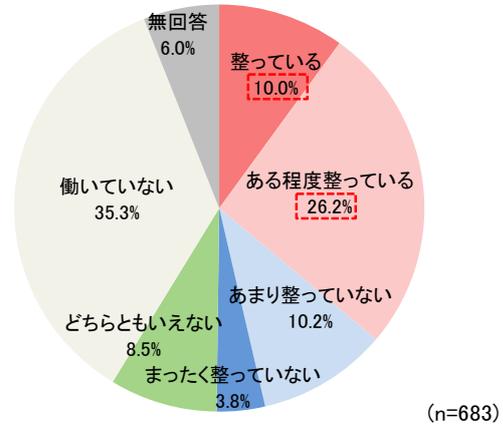
普段の生活で中心市街地を訪れる頻度では、「週に1～3回程度訪れる」が約29%で最も高く、次いで、「月に1～3回程度訪れる」が約25%である。



問27. 現在の職場は、性別や年齢に関係なく、働きやすい環境が整っていますか。

現在の職場の働きやすさでは、「働いていない」の約35%を除くと、6割程度が「整っている」または「ある程度整っている」と回答している。

	(件)
1. 整っている	68
2. ある程度整っている	179
3. あまり整っていない	70
4. まったく整っていない	26
5. どちらともいえない	58
6. 働いていない	241
無回答	41
合計	683

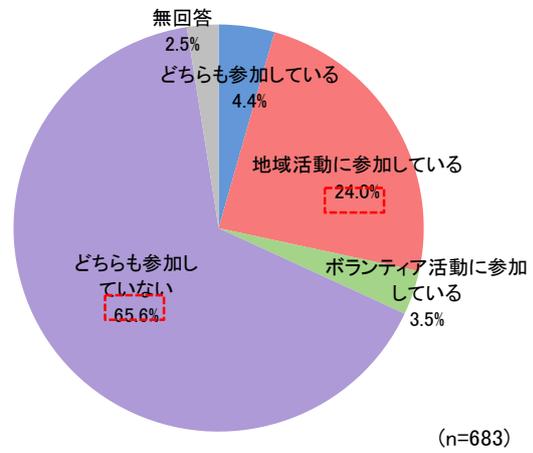


(5) 「市民活動・行政活動」について

問28. 地域活動(自治会・自主防災・子ども会など)やボランティア活動に参加していますか。

地域活動やボランティア活動の参加状況では、「どちらにも参加していない」が約66%で最も高く、次いで、「地域活動に参加している」が約24%である。

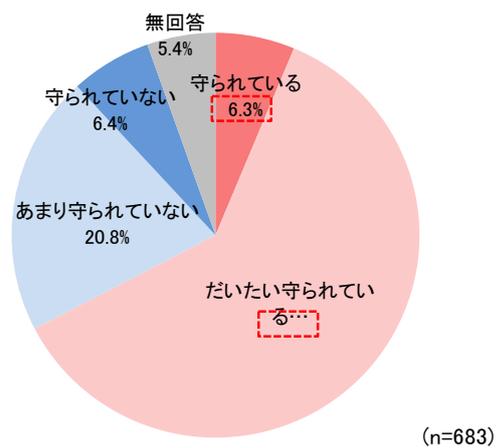
	(件)
1. どちらも参加している	30
2. 地域活動に参加している	164
3. ボランティア活動に参加している	24
4. どちらにも参加していない	448
無回答	17
合計	683



問29. あらゆる差別や偏見のない人権が守られているまちだと思いますか。

差別や偏見のない人権が守られているかについて、「守られている」または「だいたい守られている」は合わせて約67%である。

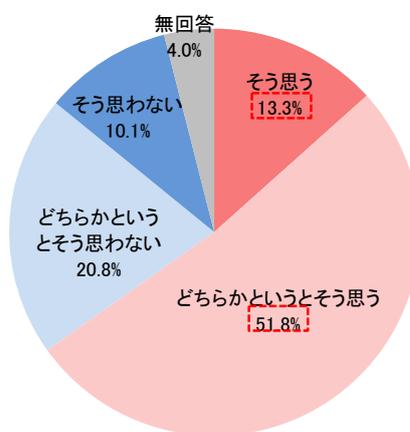
	(件)
1. 守られている	43
2. だいたい守られている	417
3. あまり守られていない	142
4. 守られていない	44
無回答	37
合計	683



問30. 性別に関係なく、だれもが平等に暮らしていけるまちだと思いますか。

だれもが平等に暮らしていけるまちかについて、「そう思う」または「どちらかというと思う」は合わせて約65%である。

	(件)
1. そう思う	91
2. どちらかというと思う	354
3. どちらかというと思わない	142
4. そう思わない	69
無回答	27
合計	683

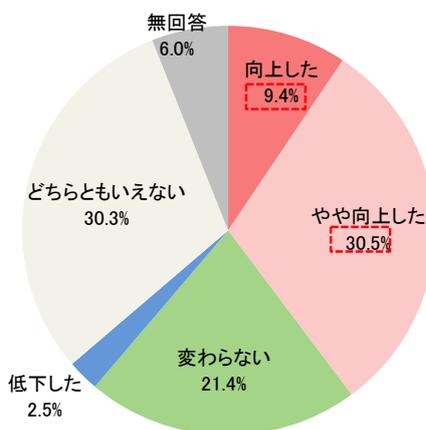


(n=683)

問31. スマートフォン・パソコンなどを用いた情報通信技術の活用により、行政サービスの利便性は向上しましたか。

情報技術の活用による行政サービスの利便性では、「向上した」または「やや向上した」は合わせて約40%である。

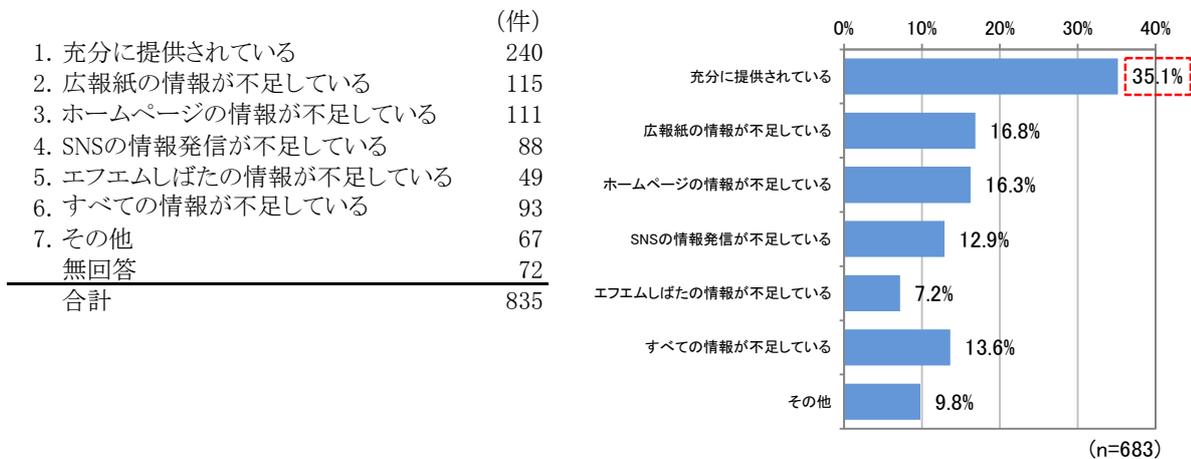
	(件)
1. 向上した	64
2. やや向上した	208
3. 変わらない	146
4. 低下した	17
5. どちらともいえない	207
無回答	41
合計	683



(n=683)

問32. 広報紙やホームページ・SNS・エフエムしばた等で、市政情報が十分に提供されていると思いますか。（3つまで選択）

市政情報の提供について、「十分に提供されている」と回答した人は約35%である。「情報が不足している」という回答の中では、広報誌やホームページの割合が比較的高い。



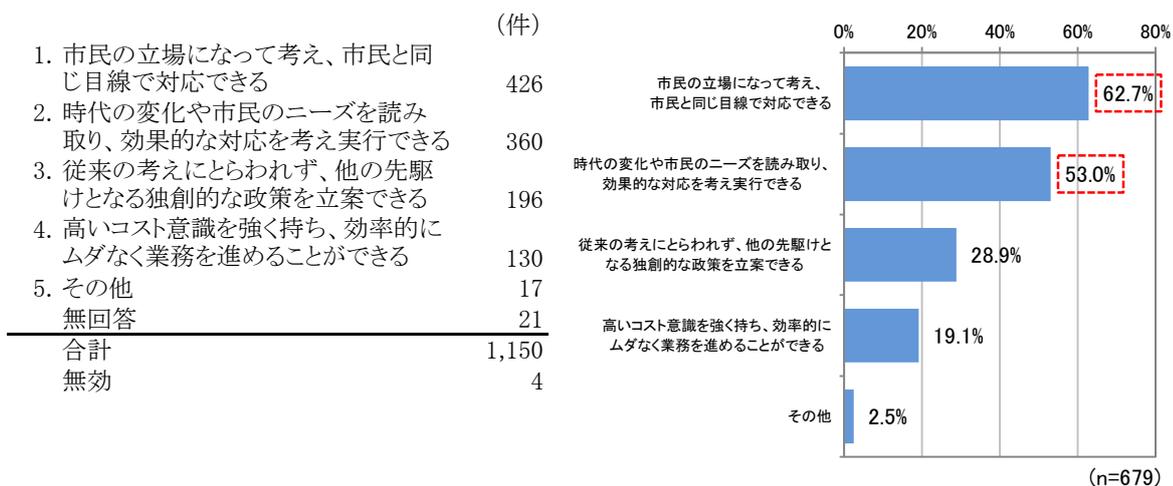
【その他】

- ・ 普通またはそこそこ提供されている(3)
- ・ 市民に普及されていない(3)
- ・ 利用方法等がわかりにくい(3)
- ・ 利用しないのでわからない(43)

など

問33. これからの新発田市にどのような職員が特に必要だと思いますか。（2つまで選択）

これからの新発田市に必要な職員では、「市民の立場になって考え、市民と同じ目線で対応できる職員」が約63%で最も高く、次いで、「時代の変化や市民のニーズを読み取り、効果的な対応を考え実行できる職員」が約53%である。



【その他】

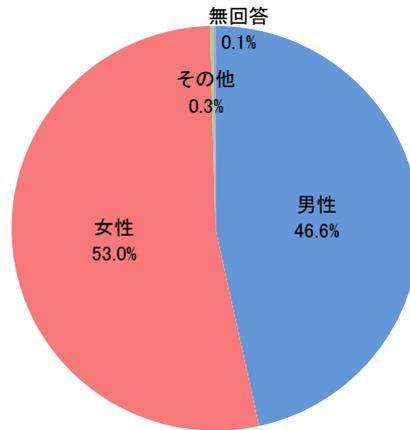
- ・ 親切丁寧、元気など態度が良い(3)
- ・ 若手(2)
- ・ 中心地以外を考えて行動できる職員
- ・ メディア露出の高い発信力のある職員
- ・ 成熟社会に知見のある職員

など

4. あなたご自身のことについて、おたずねします

問34. あなたの性別をお答えください。

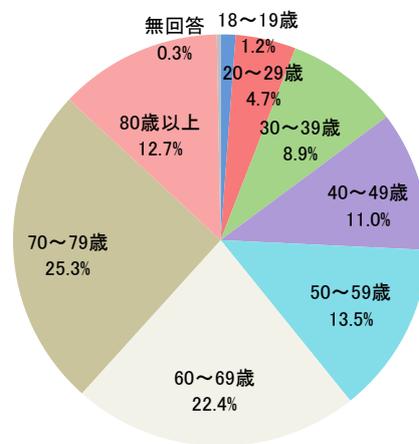
	(件)
1. 男性	318
2. 女性	362
3. その他	2
無回答	1
合計	683



(n=683)

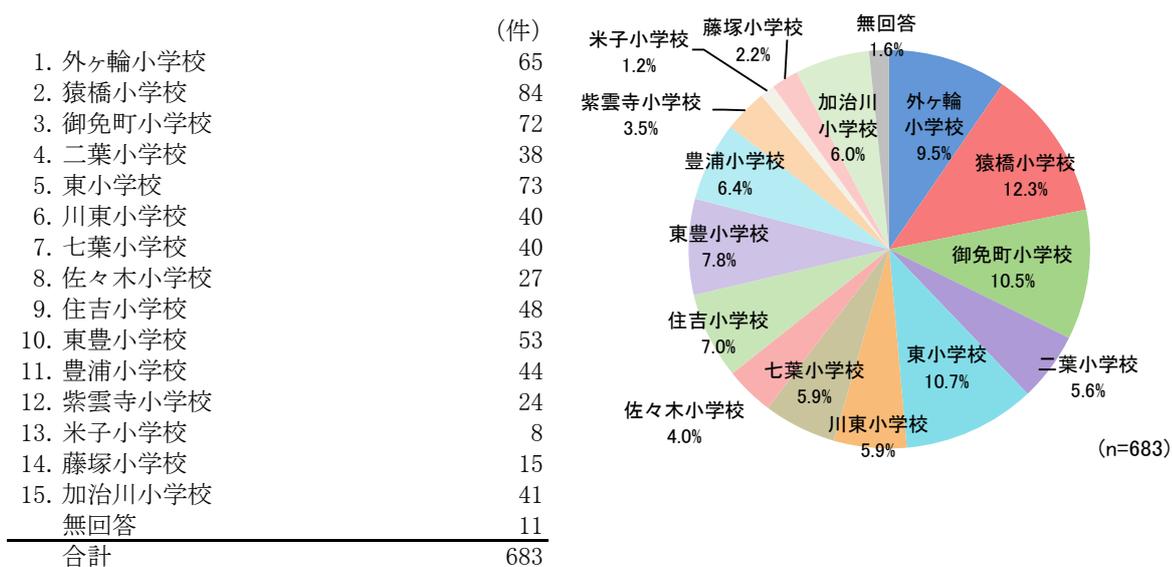
問35. あなたの年齢をお答えください。

	(件)
1. 18～19歳	8
2. 20～29歳	32
3. 30～39歳	61
4. 40～49歳	75
5. 50～59歳	92
6. 60～69歳	153
7. 70～79歳	173
8. 80歳以上	87
無回答	2
合計	683

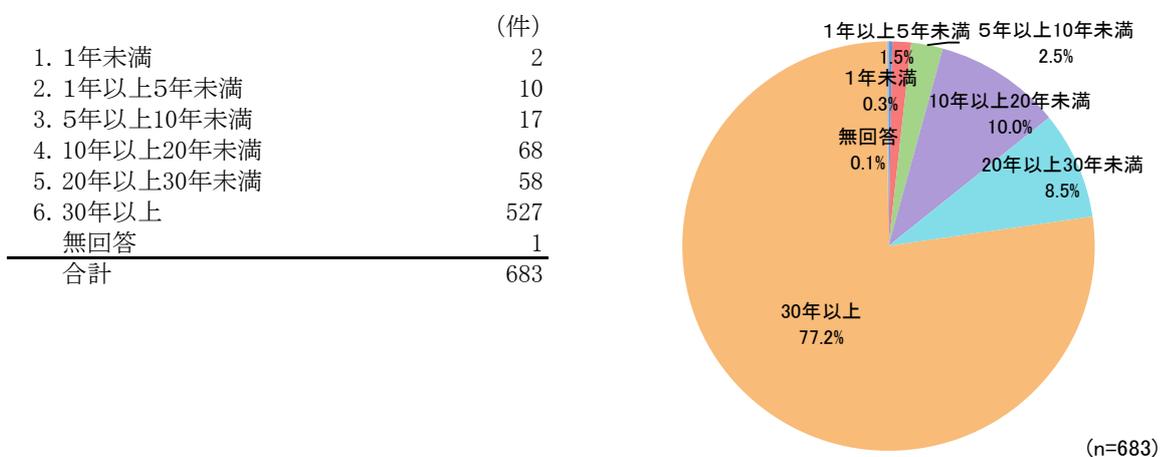


(n=683)

問36. あなたのお住まいの地区（小学校区）をお答えください。

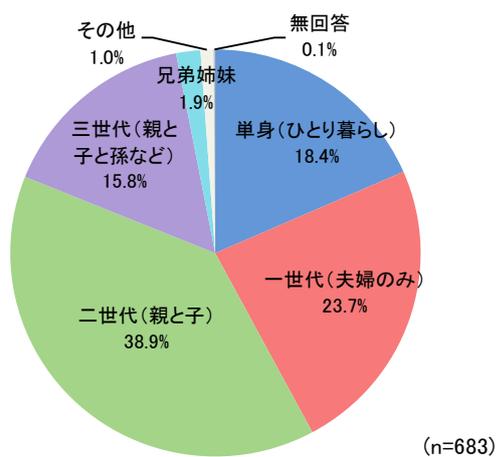


問37. 新発田市にお住まいの年数をお答えください。



問38. あなたの家族構成をお答えください。

	(件)
1. 単身(ひとり暮らし)	126
2. 一世代(夫婦のみ)	162
3. 二世代(親と子)	266
4. 三世代(親と子と孫など)	108
5. 兄弟姉妹	13
6. その他	7
無回答	1
合計	683

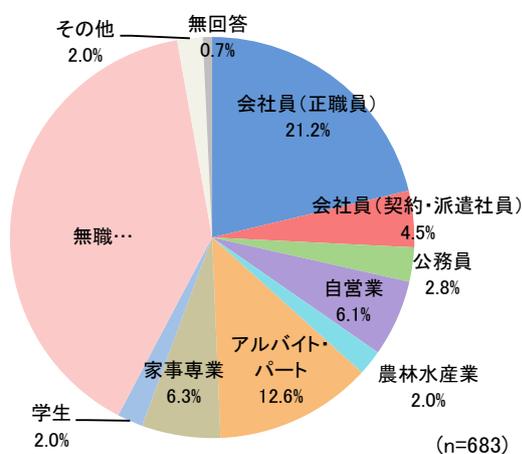


【その他】

- ・ 四世代(2)
 - ・ 施設入所(2)
- など

問39. あなたの主な職業をお答えください。

	(件)
1. 会社員(正職員)	145
2. 会社員(契約・派遣社員)	31
3. 公務員	19
4. 自営業	42
5. 農林水産業	14
6. アルバイト・パート	86
7. 家事専業	43
8. 学生	14
9. 無職	270
10. その他	14
無回答	5
合計	683



【その他】

- ・ 障がい者就労支援(2)
 - ・ 医療・介護職(2)
 - ・ 介護・医療従事者(2)
 - ・ 団体職員
- など

5. 今後のまちづくりについて

問40. これからのまちづくりについて、ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

これからのまちづくりについて、227名の方から意見をいただいております。分野別では、「I生活・環境」と「IV産業」がともに約32%であり、特に中心市街地活性化や公共交通に関する意見が多い。

分野	施策	件数
I 生活・環境 (32.2%)	1.防災	2
	2.消防・救急	1
	3.防犯・交通安全	6
	4.道路	17
	5.公共交通	22
	6.自然環境	5
	7.上・下水道	1
	8.住宅・住環境	8
	9.景観	3
	10.公園・緑地・土地利用	8
II 健康・医療・福祉 (14.5%)	1.子育て	15
	2.健康づくり	1
	3.地域医療	3
	4.高齢者福祉	14
III 教育・文化 (2.6%)	1.学校教育	3
	2.学校環境	2
	3.生涯学習	1
IV 産業 (32.2%)	1.商工業	12
	2.観光	16
	3.産業連携	1
	4.中心市街地活性化	33
	5.雇用	11
V 市民活動・行政活動 (14.5%)	1.市民参画と協働	6
	2.多文化共生と交流	5
	3.同和行政・同和教育	1
	4.行政運営	21
その他 (21.6%)	1.まちづくり全般	37
	2.コロナ関連	1
	3.アンケート関連	8
	4.その他	3
計		267
回答者数		227

*同一回答者の意見で複数の分類項目に当てはまる場合は、該当項目全てでカウントしている。